

## 松山 智一

1976年 岐阜県高山市に生まれる。現在はニューヨーク、ブルックリンを拠点に活動。

2000年 上智大学経済学部卒業

2002年 渡米

2004年 Pratt Institute (ニューヨーク) コミュニケーション・デザイン専攻 卒業

## 主な個展

2023年 *Episodes Far From Home* (Almine Rech Gallery/ロンドン、英国)

2022年 *Harmless Charm* (Sotheby's/香港)  
*The Best Part About Us* (Kavi Gupta Gallery/シカゴ、米国)

2021年 *Boom Bye Bye Pain* (KOTARO NUKAGA/東京、日本)  
*Accountable Nature* (龍美術館/重慶、中国)

2020年 *Accountable Nature* (龍美術館/上海、中国)

2018年 *No Place Like Home* (Zidoun-Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)  
*Same Same, Different* (LUMINE 0/東京、日本)

2017年 *Baby It's Cold Outside* (Lesley Kehoe Galleries/メルボルン、オーストラリア)  
*Oh Magic Night* (香港コンテポラリーアート財団、HOCA/香港)

2015年 *Somewhere Here* (Zidoun-Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)  
*Made In 17 Hours* (オーストラリア現代美術館/シドニー、オーストラリア)  
*Come with Me* (Gallery Wendi Norris/サンフランシスコ、米国)

2014年 *Sky Is The Limit* (ハーバーシティー/香港)  
*Outside Looking In* (Lesley Kehoe Gallery/メルボルン、オーストラリア)

2013年 *The Standard Rendez-vous* (Zidoun Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)  
*Palimpsest* (ハーバード大学、ライシャワー研究所/ケンブリッジ、米国)

2012年 *New Works by Tomokazu Matsuyama* (Mark Moore Gallery/ロサンゼルス、米国)  
*The Future Is Always Bright* (Gallery Wendi Norris/サンフランシスコ、米国)  
*Thousand Regards* (アメリカン大学美術館カッツェン・アートセンター/ワシントンDC、米国)

2011年 *East Weets Mest* (Joshua Liner Gallery/ニューヨーク、米国)

2010年 *In Case You're Lost* (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)

2009年 *Glancing at the Twin Peak* (Joshua Liner Gallery/ニューヨーク、米国)

2007年 *Between the Polar* (Takuro Someya Contemporary Art/千葉、日本)

## 主なグループ展

- 2023年 *ながくとも四十に足らぬほどにて死なんこそめやすかるべけれ (Die Young, Stay Pretty)* ,  
*Curated by Tomokazu Matsuyama + Carlos Rolon* (KOTARO NUKAGA/東京、日本)
- 2022年 *オフィシャルコラテラルプロジェクト(第17回イスタンブール・ビエンナーレ/イスタンブール、トルコ)*
- 2021年 *Realms of Refuge* (Kavi Gupta Gallery/シカゴ、米国)  
*Home & Away: Selections From Common Practice* (Miles McEnergy Gallery/ニューヨーク、米国)  
*Nature Morte* (The Hole/ニューヨーク、米国)
- 2020年 *We Used To Gather* (Library Street Collective/デトロイト、米国)
- 2019年 *FIXED CONTAINED, Curated by Tomokazu Matsuyama* (KOTARO NUKAGA/東京、日本)
- 2018年 *Pardon My Language, Curated by Tomokazu Matsuyama*  
(Zidoun-Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
- 2017年 *Re:define* (ダラス・コンテポラリー/テキサス、米国)  
*Forms and Effects: Ukiyo-e to Anime* (Ramapo College of New Jersey/ニュージャージー、米国)
- 2013年 *Mess in' With The Masters* (メサコンテンポラリーアートセンター/アリゾナ、米国)  
*Edo Pop: The Graphic Impact of Japanese Prints* (ジャパン・ソサエティー/ニューヨーク、米国)  
*Changing World Through Art* (Marianne Boesky Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2012年 *Re:Define* (ゴス・マイケル財団/テキサス、米国)
- 2011年 *untitled* (チベットハウス美術館/ニューヨーク、米国)  
*Joy Ride* (Spencer Brownstone Gallery/ニューヨーク、米国)  
*We Are All One* (ニューヨーク工科大学/ニューヨーク、米国)  
*Changing World Through Art* (Haunch of Venison Gallery/ニューヨーク、米国)  
*The Open Day Book Exhibition* (Los Angeles Contemporary Exhibition/ロサンゼルス、米国)
- 2010年 *Sugi-POP! The Influence of Anime and Manga on Contemporary Art*  
(ポーツマス美術館/ポーツマス、米国)  
*Summer Group Exhibition* (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)  
*Draw* (メキシコ市博物館/メキシコシティ、メキシコ)  
*Changing the World Through Art* (Haunch of Venison Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2009年 *Lost in Mutation: The Surreal in Contemporary Japanese Art*  
(タフツ大学アイデックマン・アートセンター/マサチューセッツ、米国)  
*Sacred Monsters* (タフツ大学アイデックマン・アートセンター/マサチューセッツ、米国)  
*UNFRAMED 2009* (15 Union Square/ニューヨーク、米国)
- 2008年 *Winter Group Show* (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)  
*眼差しと好奇心* (ミヅマアートギャラリー/東京、日本)  
*Night Watch* (Takuro Someya Contemporary Art/千葉、日本)  
*Piece of Peace* (パルコ・ギャラリー/東京、日本)
- 2007年 *U Can't Touch This: The New Asian Art, Zone* (チェルシーアートセンター/ニューヨーク、米国)

*Bunkamura* アートショー/*BAS2007* (Bunkamura ギャラリー/東京、日本)

*Project To Surface* (M127/ニューヨーク、米国)

*Natural Drift* (タクロウソメヤ・コンテンポラリーアート/千葉、日本)

## コレクション

ロサンゼルス・カウンティ美術館 (LACMA) (米国)

サンフランシスコ・アジア美術館 (米国)

マイアミ・ペレズ美術館 (米国)

カラマズー美術館 (米国)

AMMA 財団/美術館 (メキシコ)

龍美術館 (中国)

宝龍美術館 (中国)

德基美術館 (DEJI ART MUSEUM) (中国)

K11 アート財団 (香港)

スペース K ソウル美術館 (韓国)

マイクロソフト・コレクション (米国)

The Dean コレクション (米国)

トヨタ自動車 (米国)

Bank of Sharjah コレクション (アラブ首長国連邦)

ドバイ首長国王室コレクション (アラブ首長国連邦)

ポイント・レオ・エステート (オーストラリア)

ナイキ・ジャパン (日本)

リーバイ・ストラウスジャパン (日本)

JR 東日本/LUMINE (日本)

## パブリック・アート・プロジェクト

2022 フラットアイアン・パブリック・プラザ (ニューヨーク、米国)

彫刻インスタレーション

Galataport, Istanbul Biennial Istanbul (イスタンブール/トルコ)

ステンレス・スチール

オフィシャルコラテラルプロジェクト / 第 17 回イスタンブール・ビエンナーレ

Yanköşe, Istanbul Biennial Istanbul (イスタンブール/トルコ)

インフレーターブル合成繊維

オフィシャルコラテラルプロジェクト / 第 17 回イスタンブール・ビエンナーレ

K11 Foundation, K11 MUSEA Hong Kong (香港)

デジタル LED ビルボードインスタレーション

jing vision (東京、日本)

LED ビルボードインスタレーション / jing、原宿駅前

2021 TIPSTAR DOME CHIBA (千葉、日本)

彫刻とミューラルインスタレーション

Ivy ステーション (ロサンゼルス、米国)  
彫刻とミューラルインスタレーション/ カルバー・シティ, ロサンゼルス

Guo Hua Financial Center (重慶、中国)  
LED ビルボードインスタレーション / 龍美術館

2020 JR 新宿東口駅 (東京、日本)  
駅前広場監修、恒久作品設置/ JR 東日本、LUMINE

明治神宮 (東京、日本)  
「神宮の杜芸術祝祭」野外彫刻設置 / アートパワーズジャパン

2019 North Canon Drive (ビバリーヒルズ、米国)  
ミューラルインスタレーション / ビバリーヒルズ市  
  
バワリーミューラル (ニューヨーク、米国)  
ミューラルインスタレーション / Goldman Global Arts

2018 渋谷スクランブルスクエア (東京、日本)  
LED ビルボードインスタレーション / Peanuts Global Arts、ソニー、Culture Corps

2014 ハーバーシティ (香港)  
野外アートインスタレーション / ハーバーシティ

## 作品集、展覧会図録

『情熱大陸 x 松山智一』  
MBS (大阪)、2021

『日曜美術館 クラスタ2020 ~NY 美術家 松山智一の戦い~』  
企画・制作：NHK エデュケーショナル 販売：MATSUYAMA STUDIO (東京)、2021

『Tomokazu Matsuyama IN AND OUT』  
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社  
美術出版社書籍編集部 (東京), 2021

『Fixed Contained』 KOTARO NUKAGA (東京), 2019  
テキスト：秋元雄史

『No Place Like Home』  
Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2018  
テキスト Hollis Goodall

『Pardon My Language』  
Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2018  
テキスト：Peter Doroshenko

『Tomokazu Matsuyama』

HOCA Foundation (香港), 2017

テキスト Rory Padeken and Lauren Every-Wortman

『Tomokazu Matsuyama: A Floating World Redux』

Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2016

テキスト Eric Shiner.

『Palimpsest』

Reischauer Institute of Japanese Studies, Harvard University (ケンブリッジ), 2013

テキスト David L. Howell.

『Thousand Regards』 Panorama Publishing (東京), 2013

テキスト : Yayoi Shionoiri

『Edo Pop: The Graphic Impact of Japanese Prints』

Japan Society (ニューヨーク), 2013

『Further』 Gingko Press (バークレー), 2010、 pp.156-203

『In Case You're Lost』 Frey Norris Gallery (サンフランシスコ), 2010

テキスト Eric Shiner

『Tomokazu Matsuyama』 Panorama Publishing (東京), 2010

テキスト : Eric Shiner, Alexandra Chang, 窪田研二

『Found Modern Library』 Gingko Press (バークレー), 2007

テキスト : Alexandra Chang